



角高だより



宮城県角田高等学校

〒981-1505

宮城県角田市角田字牛館1

☎ 0224-63-3001

FAX 0224-63-0523

HP <https://kakuko.myswan.ed.jp/> Email kakuko@od.myswan.ed.jp

角田高校オープンスクール



左から大村優翔君、小島奈笑さん、朱泉良君

7月28日(木)に角田高校オープンスクールを実施しました。中学生201名、保護者84名、計285名の参加がありました。当日の内容は、校長、生徒会長の挨拶に引き続き、学校説明、動画による校舎案内、生徒会から学校生活の紹介を行った後、ファシリテーター(3年 大村優翔)、パネラー(3年 小島奈笑、2年 朱泉良、1年 我妻頼)によるパネルディスカッションを行いました。最後に部活動見学、保護者相談会を行い、盛況のうちに閉会しました。パネルディスカッションでは、参加した中学生からの受験勉強、部活動、進路に関する質問にパネラーが回答し、中学生や保護者から「分かりやすかった」「楽しかった」などの好意的な感想が多数寄せられました。ひとりでも多くの中学生に角田高校に興味を持ってもらえたら嬉しいです。



動画での学校説明(全体会)



部活動見学(男子テニス部)



部活動見学(茶道部)

角田・丸森地区小中高合同「防災ワークショップ」

8月18日(木)本校を会場に角田・丸森地区小中高合同ワークショップ「経験したことがない大雨 その時どうする?」を開催しました。角田高・伊具高・角田中・北角田中・丸森中・角田小・丸森小・舘矢間小の児童生徒30名が参加し、グループワークを行いました。角田市・丸森町のハザードマップを確認し、それぞれの地域にどのような危険があるのかを確認し、どのような避難行動をすれば良いのかを学びました。角田市教育委員会教育長、丸森町総務課危機管理専門官、各校校長先生、学校評議員の方をはじめ多くの方に参加して頂きました。

当日の様子は、当日宮城テレビで放送されました。東日本放送、河北新報でも報道されています。



修了書を授与された生徒たち



グループワーク



小中高生による発表

“かくだ傘宇姫夏祭り” 角高生 19 ブース初出店

角田市で8月14日(日)に「かくだ傘宇姫夏まつり」が行われ、角田高校の生徒約90名が飲食店や射的、お花け屋敷など19ブース出店し、地元の夏まつりを大いに盛り上げました。傘宇姫夏まつりは2019年まで続いた「かくだふるさと夏まつり」をリニューアルしたもので、今回が事実上第1回目の開催となります。主催は市や市商工会などの実行委員会で、「高校生の出店は、若い人たちが地域を盛り上げる活力になる」と青年部が企画し、本校にも募集がありました。事前の説明会を経て、生徒たちは商工会の方々に安全且つ楽しんでもらえるノウハウを聞き、自分たちで考え、当日の出店となりました。出店した生徒たちは、青年部のメンバー、地域の方々と交流を図り、商売の構造や接客など学びながら地域貢献するという、夏休みにかけてがえのない経験をする事ができました。夏祭り終了後、市や商工会など各所から「角田高校がまつりを盛り上げてくれた」などお礼の言葉を数多くいただきました。



角田高校サマーカレッジ

8月5日(金)本校を会場に、令和4年度角田高等学校サマーカレッジが実施されました。この事業は宮城県教育委員会の主催で企画されたもので、地域の高校生向けに行われたものです。

今回は、大学の先生7名を招いて、それぞれの専門分野に関する講義を行っていただきました。合計90名の参加者のうち、本校の生徒だけではなく、外部の学校からも38名の高校生や保護者が参加しました。

講義の内容は、「ニュートリノで解き明かす宇宙の謎」というものや、「宮沢賢治と教育」、地域医療やオンライン医療などの話題や「メディアでの日本語と英語の違い」に焦点を当てたもの、臨床心理学の基礎や「持続可能な地域のための環境デザイン」など話題は多岐に渡ります。また、昨年度も担当していただいた東北学院大学の千葉昭彦先生には「農村の経済問題は農業で理解できるのか」というテーマで、日本の農業と農業政策の現状と食の安全性やスローフード運動について分かりやすく話していただき、受講生は大変満足していました。1年3組 天野駿太君は、「もともと宇宙に興味があり参加した。今回の講義を聞き、難しい内容もあったが、今まで以上に宇宙に興味を持つことができた」と話していました。



合唱部 楽天生命パークで国歌斉唱披露

大型ビジョンに写る部員 (右)



ユニフォームで観戦する部員 (左)

8月19日(金)に合唱部が楽天生命パーク宮城で行われた楽天イーグルス VS 千葉ロッテマリーンズの試合前、2万人を超す大観衆の前で国歌斉唱を行いました。部長の遠藤志歩さんは、「2万人の観衆を前に緊張したが、堂々と歌いきることができたので良かった。その後の試合観戦も含め、全てが楽しく思い出深い経験になった。試合では浅村選手の250号HRを含む3本のHRを見ることができた。貴重な経験を部員と共有でき、本当に嬉しかった」と話していました。